


2023年度

安全報告書



 水島臨海鉄道株式会社

1. 利用者はじめ地元の皆さまへ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
また、平素は鉄道事業に対してのご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全を確保するための取組みや安全管理体制について、皆様に広くご理解いただくために公表するものです。

皆さまからの率直なご意見・ご感想を頂戴できれば幸いです。

2. 輸送の安全を確保するための基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」として定め、社長以下社員全員に周知徹底しています。

1. 安全の確保は輸送の生命である。
2. 規程の遵守は安全の基礎である。
3. 執務の厳正は安全の要件である。

(2) 安全目標

当社では、経営トップを含め全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。2023年度は、「身に付けて 基本作業とプロ意識 みんなで築く安全と信頼」をスローガンに、社員一同「無事故達成」に向けて取り組みました。

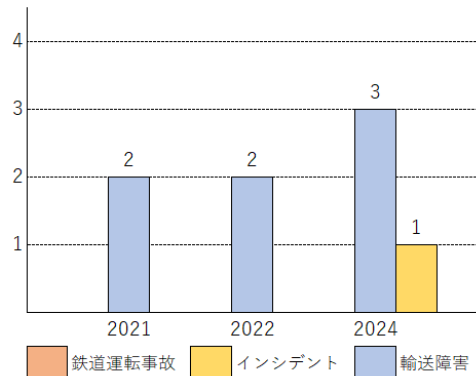
なお、2024年度は「指差喚呼・基本作業を確実に 高めよう一人一人の安全意識」をスローガン に掲げ、運転事故「0」、労働災害「0」を目指して取り組む所存です。

3. 2023年度の事故発生状況

2023年度は、鉄道運転事故の発生はありませんでした。インシデントは踏切無遮断1件、輸送障害は、旅客列車の「車両故障」が1件、「部外その他」が1件、貨物列車の「社内その他」が1件の計3件の発生となりました。

【2023年度 事故発生件数】

- (1) 鉄道運転事故 0件
- (2) インシデント 1件
- (3) 輸送障害 3件



4. 安全確保の取組み

(1) 安全推進会議

運転事故や労働災害防止に関する事項を審議し、有効な対策の策定、推進を行うことを目的として本社において隔月で開催しました。

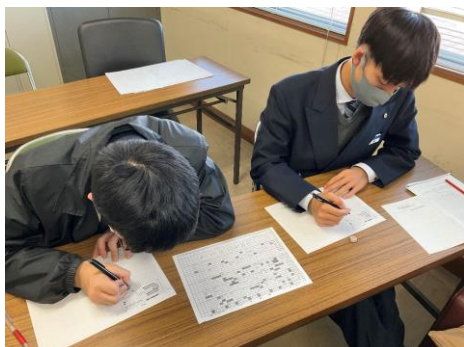
自社、他社で発生した事故事例を基に、グループ会社も参加して、対策等を検討・討議して事故防止に努めました。



(2) 乗務員指導訓練の実施

全乗務員に対して、計画的に教育・訓練を実施し、車両故障時等の迅速な対応を含め、資質の維持・向上に努めました。

全運転士に対して年間2回以上の添乗を実施し、作業実態の把握に努めました。



(2)

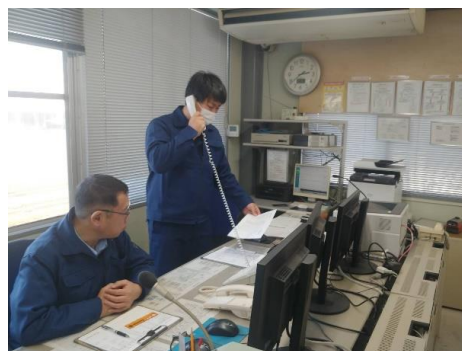


(3) 異常時訓練の実施

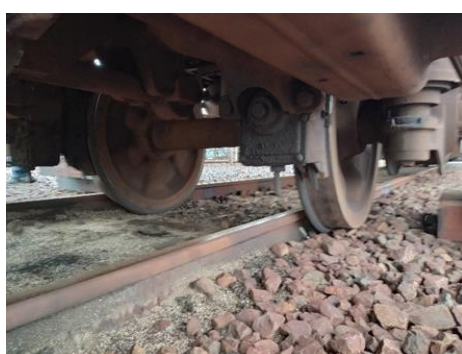
① 南海トラフ地震を想定した訓練の実施

(ア) 地震発生時における安全確認と連絡体制、確実な情報伝達及び指示方法の確認を行いました。南海トラフ地震発生の場合を想定し津波警報発令より津波到達までに車両を高架上へ待避させる訓練を行いました。

(12月8日、参加人数：11名)



(イ) 水島臨海サービスとの連携と車両脱線時の速やかな復旧を目的に車両脱線復旧訓練を実施しました。(12月19日、参加人数：7名)



② 「JR 山陽本線との共用踏切で人身事故発生」時の対応訓練の実施（11月29日）

JR 西日本、JR 貨物及び水島臨海鉄道による合同での異常時訓練を実施し、人身事故発生時における会社間の連携方法を確認しました。

訓練は各社の社員が様々な立場で参加できるよう3回実施され、特に JR 西日本倉敷駅社員と現場責任者や CTC センター運転指令と JR 輸送指令員間において、相互に対応方法を確認し合いながら進めたことによりコミュニケーションを深める訓練となりました。（参加人数 13 名）



(4) 踏切事故防止キャンペーンの実施（11月1日～11月10日）

踏切事故防止キャンペーンの取組みとして、踏切道、踏切保安設備等の点検整備を実施しました。

また、児童、学生の通行量が多い「村東道踏切」と工場に出入りする大型トラックが集中する「板敷踏切」において、事故防止のチラシを配布するとともに踏切事故防止の呼びかけを行いました。（11月6日）

併せて、期間中は、本社・各現場に立て看板の設置と、車内放送により踏切事故防止の啓発活動を実施しました。



(5) 年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施（12月10日～1月10日）

年末年始期における輸送の安全確保及び事故防止に万全を期するため、本社社員による現場点検を実施して、各職場の安全確保の取組みについて確認・指導しました。

また、繁忙期となる年末には、本社社員による列車添乗を実施し、安全・安心輸送の確保に努めました。

(6) ヒヤリ・ハットの推進

全社員参加による運転事故、労働災害防止を推進するため、ヒヤリ・ハット運動の定着化に努めました。現場長から関係社員へ積極的に声掛けをするとともに、報告しやすい環境整備と雰囲気醸成に努めました。

また、報告された内容は、安全推進会議で紹介して、社員やグループ会社等へ共有化を図りました。

(7) 安全のための駅・車両及び施設の整備・点検等の実施

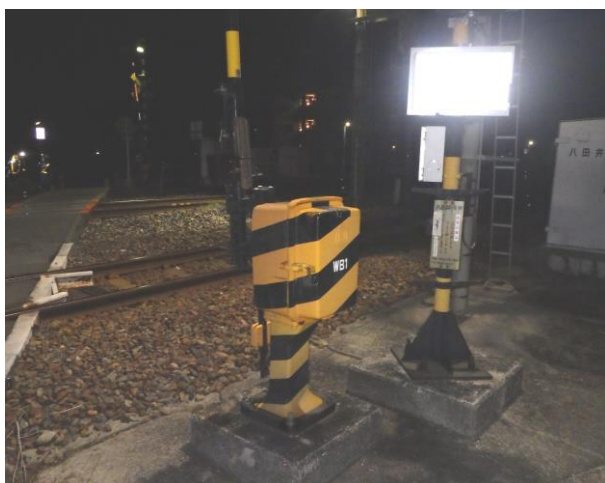
【車両の保守点検】

・車両の保守・点検整備の実施

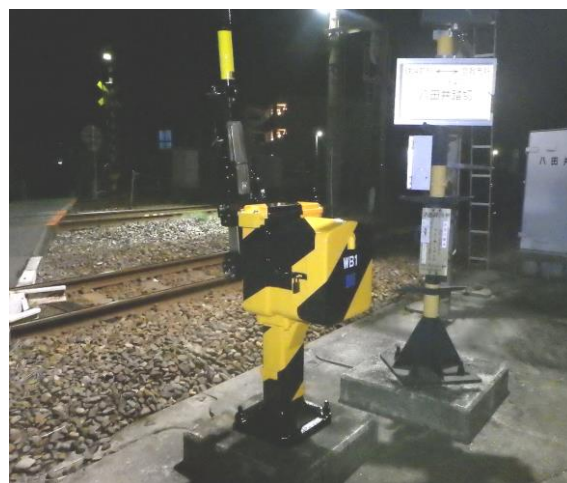
- ◆月検査 延べ50両（気動車…42両、機関車…8両）
- ◆重要部検査 2両（気動車）
- ◆全般検査 1両（気動車）

【施設の新設・改修】

① 電気踏切しゃ断機取替工事（八田井踏切・吉川踏切・菱光踏切）



【取替前】



【取替後】

② 障害物検知装置更新工事（臨港第一踏切）



【更新前】



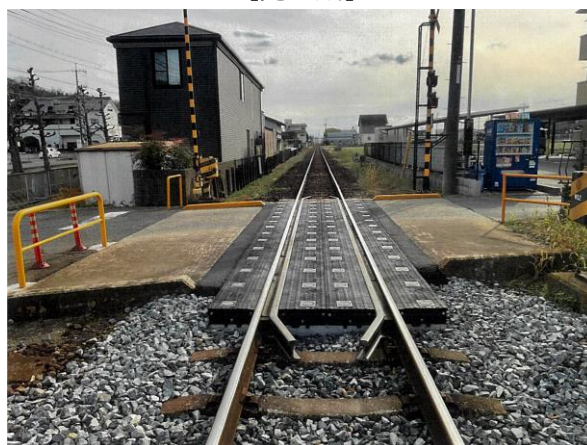
【更新後】

③ 第二五軒屋踏切 TK 式プラバン化工事

【着工前】



【完成】



④ PC 枕木化工事 (港東線)

【着工前】



【完成】



⑤ 耐震補強工事 (千鳥町・中畝架道橋)

【着工前】

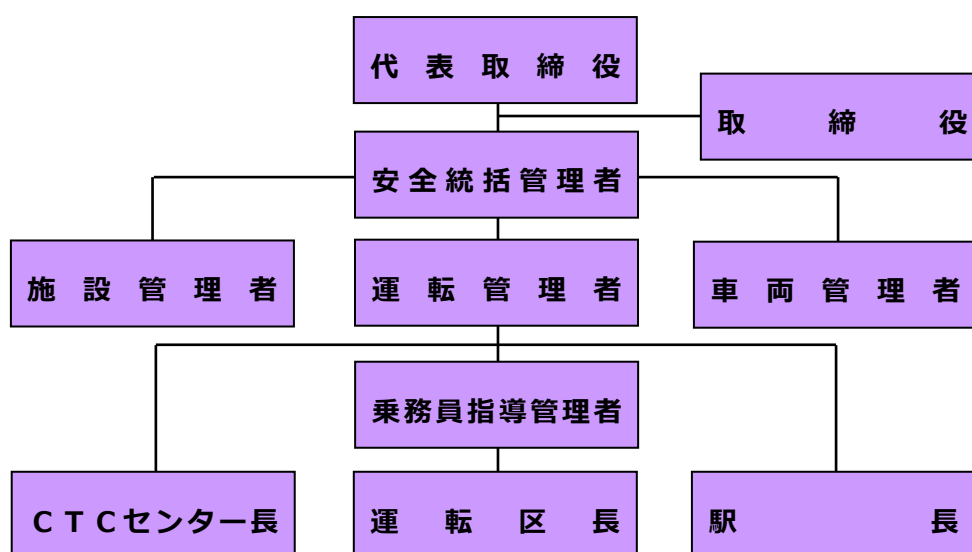


【完成】



5. 安全管理体制図及び役割分担

体制図及び役割分担



役 職	役 割
代 表 取 締 役	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全確保に関する業務を統括管理する
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する